

① 第2学年 学活 科学習指導案

学習指導者 Aグループ

1 単元名

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

- 自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞き、受け入れられる態度や意欲を高める
- 題材の設定(身近なテーマ)、タブレットでカード操作を行う。

3 単元構成

① 本時

4 本時の学習指導

(1) 目標

自他の価値や考えの相違を認め、自分か人も大切にしようとする意欲を高める

(2) 学習指導過程

中辺の、外遊び

学習活動	予想される子どもの反応	
1. テイスブレイクをする	私はパンが好き。あげパンが好きだから ぼくはごはんが好き。たべやすい その他 (きん、あま) どちらもおいしいが好き いろんな考えがあるんだね。他の好きなものも知りたいな みんなのことを知ろう! ドッジボール・おにごっこ・読書・お絵かき・ねん土・ゆうぐ(ブランコ、すべ台)・なわとび・折り紙・トランプ・タブレット(雨の日)・一輪車・竹馬・虫探し・学校探検	「2つのコーナー、4つのコーナー」を行うことで自分の意見を表明しやすい環境、雰囲気を作る - クラスの実態によって、テイスブレイクのテーマを変えることで、課題は自分事として取り組めるようにする。
2. 好きな遊びと嫌いな遊びについて話し合う。 (1) 自分の中のベスト3を決める (タブレット4枚) (2) 理由をグループで紹介し合う (グループ) (3) 全クラスで交流する	私が一番好きな遊びは、おにごっこです。理由は、走るのが好きだからです。 僕が1番好きな遊びは、読書です。理由はいろいろ知ることができて楽しいからです。 私が嫌いな遊びは、虫探しです。虫が嫌いだからです。 僕が嫌いな遊びは、おにごっこです。理由は、おにになるからです。 友だちのことを知れて嬉しい 私はおにごっこが好きだけど、嫌いな人もいるんだな。	- タブレットを活用することで、書くことが苦手な児童も自分の考えを表現できるようにする - 板書をワークシートと同じ形にすることで視覚的に分かりやすくする。 - 話し合いのルールを確認することで、安心して自分の考えを伝えられるようにする。 ※発言 - 教師が問い返しをすることで、より具体的な考えに気付けるようにする。 - 子どもの考えを価値づけることで、自分とちがう考えの入っていることに気付くようにする。 - みんな遊びを決める際に起きた問題を取り上げ、本時の学習とつなげることで、実践行動力に活かせるようにする。
3. 日常での課題を知り、振り返る	自分とちがう意見の友だちの気持ちに気づくようにしたい。 自分の気持ちを伝えたら、分かってもらえるかな 自分も友だちも大切にしていきたいな	振り返りをするためのワークシートを準備する。